

1 NLD(国民民主連盟)新政権の農業分野における動向

- ◆ 本年1月、NLD経済委員会等が来日。茨城県下の農協や普及制度を視察し、農林水産省とも意見交換。
- ◆ 本年2月、担当審議官がミャンマーを訪問し、NLD農民問題委員会等と意見交換し、新政権発足後も対話を継続することを確認。栽培等基本的技術の向上、法制度を含む効果的な体制の整備など、中長期的な対策の重要性につき認識が一致。
- ◆ 本年2月、ミャンマー政府が農畜水産分野を含む2020年までを計画期間とした第2次5カ年計画を策定。
- ◆ 本年3月15日にティン・チョー大統領が選出され、3月30日に新政権が発足。農業灌漑省、畜水産地方開発省、協同組合省の3省が統合され、農業畜産灌漑省となり、農業畜産灌漑大臣にアウン・トゥ氏が就任。
- ◆ 本年5月、今後の協力を効果的に行うため、農林水産省から担当審議官を筆頭としたミャンマー現地調査ミッションを派遣し、営農普及や農業金融の現状を調査。
- ◆ 同ミッションに併せ、担当審議官がアウン・トゥ農業畜産灌漑大臣に面会。小農の所得向上のためには基礎的な農業技術の向上と政策の実施体制の確立が不可欠であることを説明するとともに、研究・普及部門への予算配分、統合された農業、畜水産、農村開発各分野の緊密な連携、農業協力対話の継続とフードバリューチェーン構築のための工程表の早期策定について要請。



営農普及員、農民との意見交換



ミャンマー農業開発銀行支店の訪問



アウン・トゥ大臣との意見交換

2 官民連携による二国間協力対話の実施

- ◆ 昨年7月の協力対話で構成と項目について合意した「フードバリューチェーン構築のための工程表」について、現在ミャンマー側と協議し、案文の作成中。
- ◆ 工程表には、作目別対策(コメ・豆、園芸作物等)と作目横断的対策(食品産業、機械等)について、両国の官民の取組を記載。金融支援や農業資材の適正使用など、民間企業の取組を促進する施策も記載予定。
- ◆ 工程表案の完成後、本年冬頃を目途に協力対話を開催し、工程表の承認を行う予定。

ミャンマーの現状について

農林水産業・食品関連企業の進出例

・リーテイルブランディング(株)は、現地合弁企業を設立し、冷凍野菜工場を建設、7月稼働に向け準備中。
→ 農家に対し買取を約束し安定した出荷を目指す。



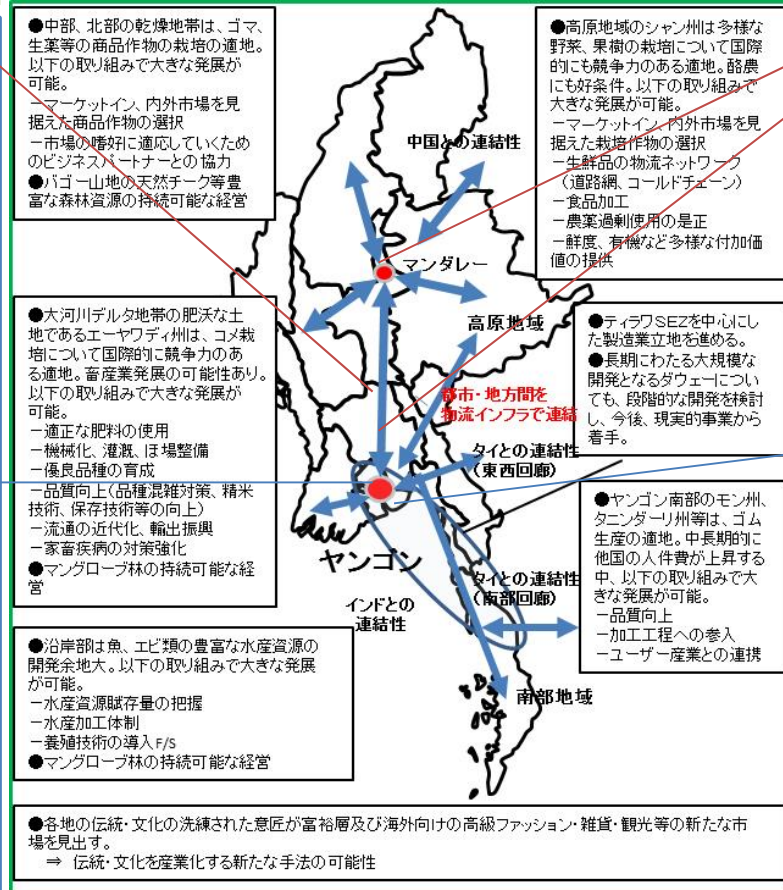
冷凍野菜工場

・国分グループ本社株式会社は、現地合弁会社「KOSPA」によるコールドチェーン事業を展開しており、昨年12月18日から「ヤンゴン低温物流センター」が稼働。
→ 野菜、果物等の付加価値向上に貢献。



ヤンゴン低温物流センター

ミャンマー産業発展ビジョン概要 (Ⅲ. 地域色と連結性の活用)



インフラ整備に関連したODA事例

JICA ホームページから抜粋

・全国基幹送電設備整備計画フェーズ I・II (円借款)

基幹送電線に係るパヤジー・ラインタヤの2変電所及び両変電所間の500kV送電線を整備
→ 送電容量の増加や電力供給の信頼度向上を図る



・ティラワ地区インフラ開発事業フェーズ I・II (円借款)

ヤンゴンとティラワ地区を結ぶ幹線道路の拡幅・整備を支援
→ 増加する交通需要へ対応し円滑な交通の実現を図る



・中小企業金融強化事業 (円借款)

中小企業向け中長期資金の供与及び仲介金融機関向けの能力強化支援を行う
→ 中小企業金融に係る資金仲介機能の円滑化及び中小企業の生産・投資の拡大

今後の対応(予定)

ビジョンの内容を実現

- ◆ 関係機関と連携し、工程表案を作成し、日ミャンマー農林水産業・食品協力対話において承認する予定。
- ◆ 工程表の承認後、両国の官民のプロジェクトを着実に実行し、協力対話においてフォローアップを実施。